

認 定 書

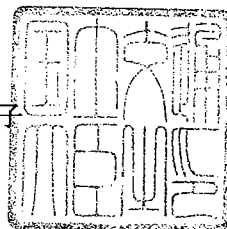
国住指第 7900 号

平成 14 年 12 月 25 日

積水化学工業株式会社

代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0066
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管・ケーブル/モルタル・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチル
ゴムシート充てん/壁耐火構造/貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル/モルタル・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート充てん/壁耐火構造/貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項目	申請構造
開口部	(面積) 0.005m ² 以下 (φ0.08m以下) (形状) 円形
占積率 (開口面積に対する給・排水管・ケーブル断面積の総合計の割合)	さや管(架橋ポリエチレン管、ケーブル) 27.6%以下 さや管(架橋ポリエチレン管) 41.6%以下 さや管(ポリブテン管) 41.6%以下 被覆付架橋ポリエチレン管 30.0%以下 架橋ポリエチレン管 36.1%以下 ポリブテン管 36.1%以下
貫通する壁の構造等	A L Cパネル 厚さ 75以上 コンクリート 厚さ 75以上

(別添-1)

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項目		申請構造			
給 ・ 排 水 管	さ	外径	23.0~42.0		
		内径	17.0~36.0		
	や	架橋 [®] ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787	
			外径	8.0~17.0	
			内径	4.8~12.8	
	管	ケーブル	材質	(1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) CVV、(2) CV、(3) VV、(4) シースなし	
			構成	0.3mm ² ×3芯以下	
			外径	6以下	
	管	ラッピング	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ラッピングなし、(2) ラッピングあり		
			(2)-1 ラッピング テープ	材質	アルミニウムはく/PETフィルム
				厚さ	0.023以上
			(2)-2 粘着テープ	幅	30以上
				材質	PETフィルム
			厚さ	0.025以上	
	さ	や	外径	23.0~36.5	
内径			17.0~29.0		
管	架橋 [®] ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787		
		外径	8.0~27.0		
		内径	4.8~20.5		
さ	や	外径	23.0~36.5		
		内径	17.0~29.0		
		本数	2本以下		
管	ポリブテン管	規格	JIS K 6778, JIS K 6792		
		外径	11.0~27.0		
		内径	7.6~21.2		
被覆付架橋 [®] ポリエチレン管	規格*	JIS K 6769, JIS K 6787			
	被覆フィルム	エラストマー樹脂			
	外径	17.0~31.0			
架橋 [®] ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787			
	外径	8.0~34.0			
	内径	4.8~26.0			
ポリブテン管	規格	JIS K 6778, JIS K 6792			
	外径	11.0~34.0			
	内径	7.6~28.1			
		本数	2本以下		

*：被覆を除く素管の規格を示す。

(寸法単位：mm)

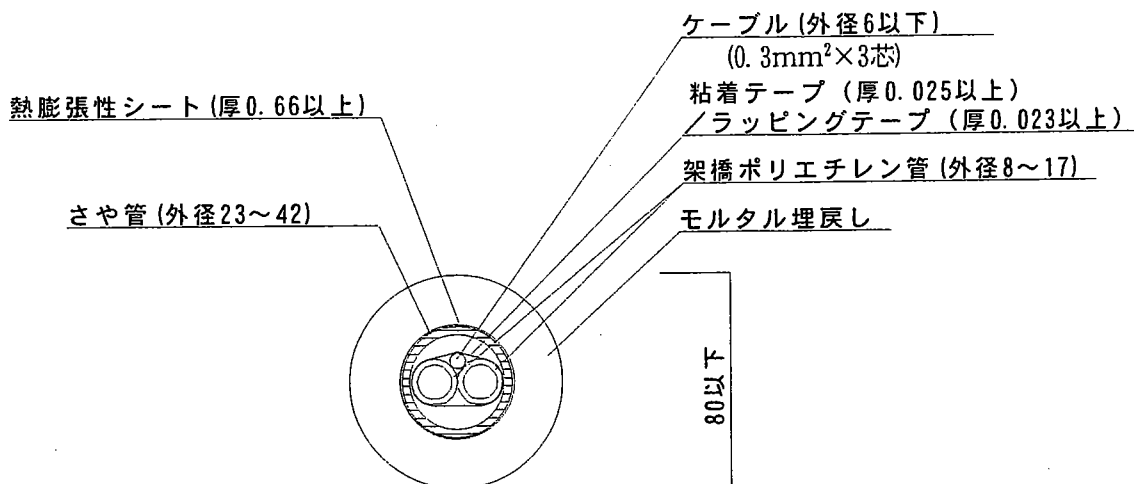
項目	申請構造		
防火措置材料	膨張材 (以下、熱膨張性シートという)		
	充てん材	材質	モルタル
		厚さ	75以上

4. 構造説明図

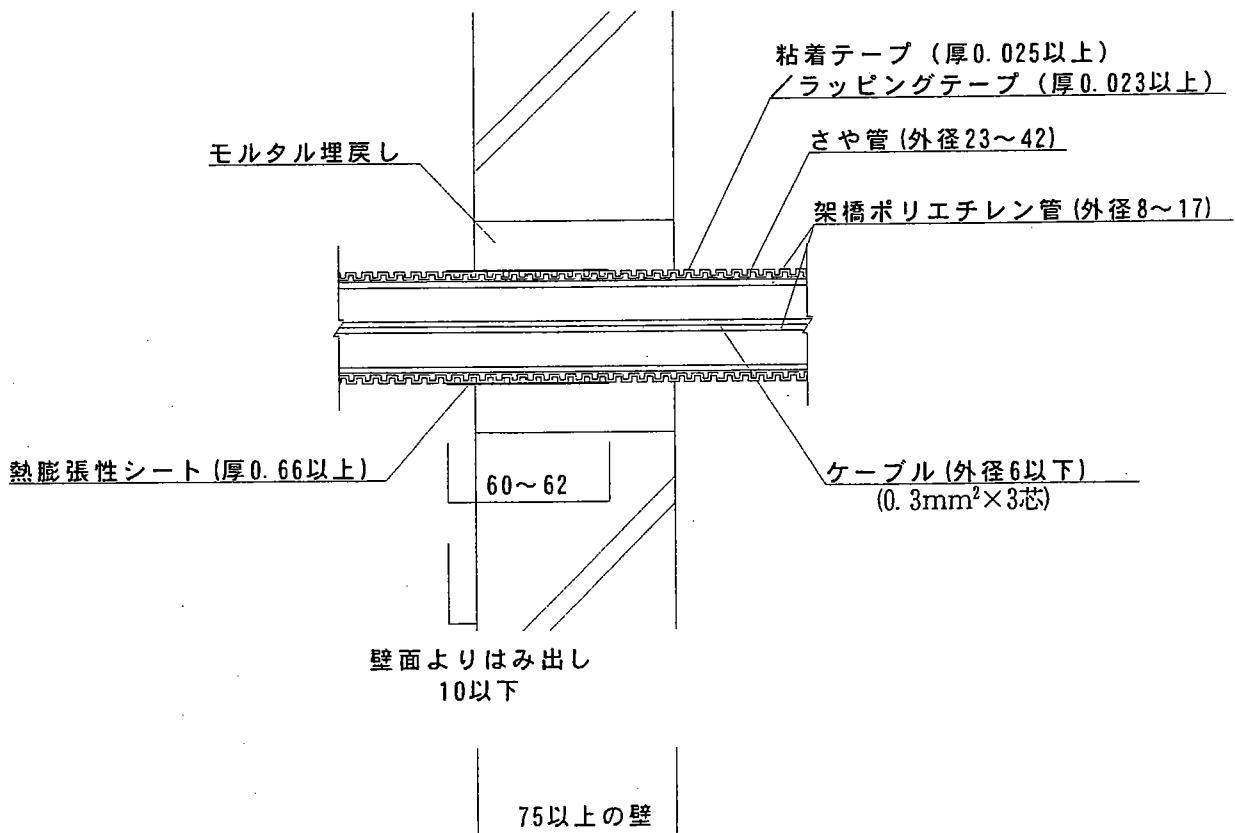
A. さや管付（ケーブルあり）の場合

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図

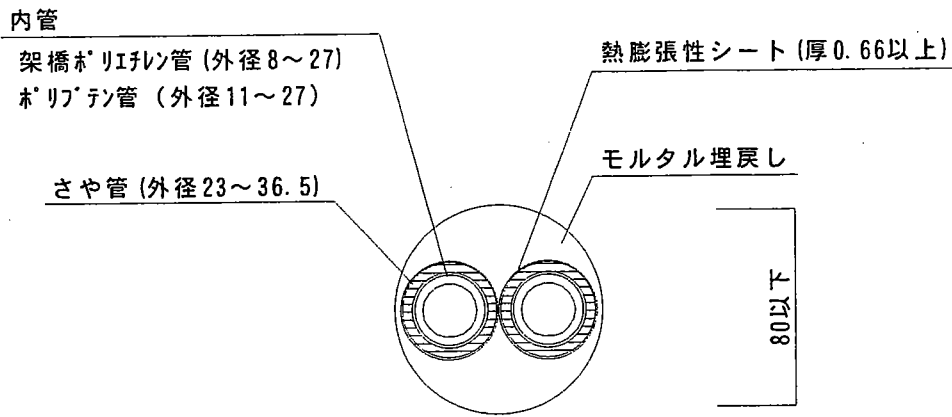


注) 寸法および構成は3のとおり

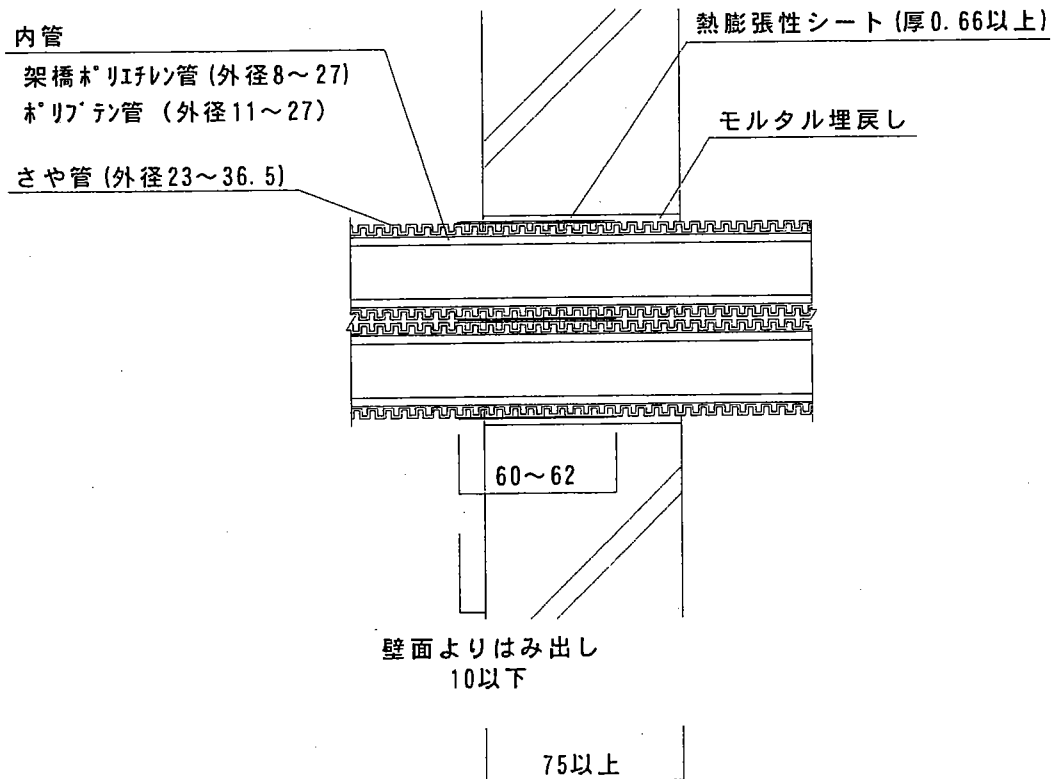
B. さや管付（ケーブルなし）の場合

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図



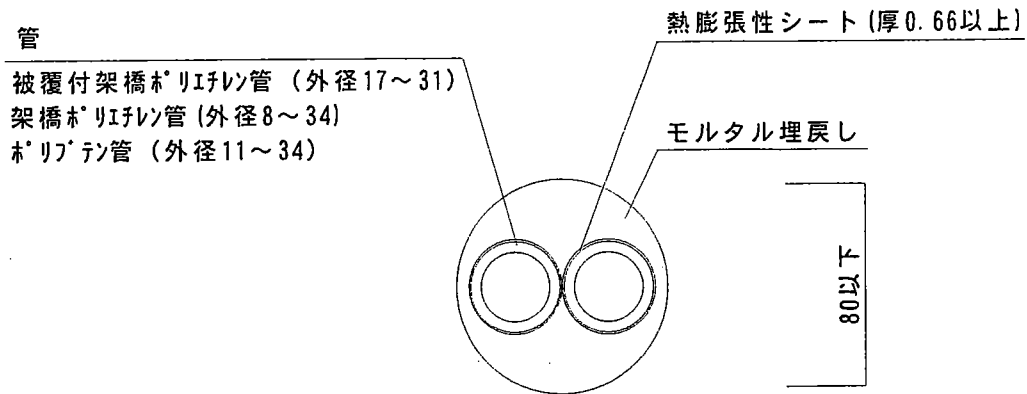
注) 寸法および構成は3のとおり

(別添-5)

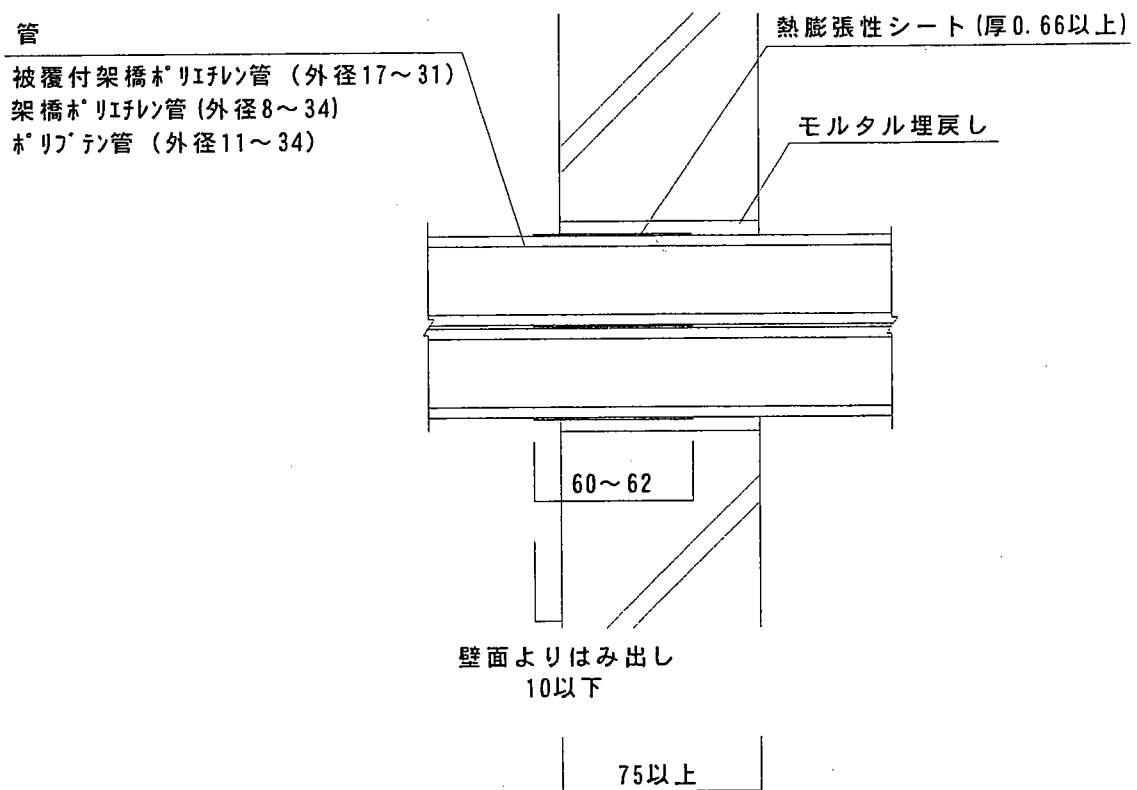
C. さや管付以外の場合

(寸法単位：mm)

・正面図



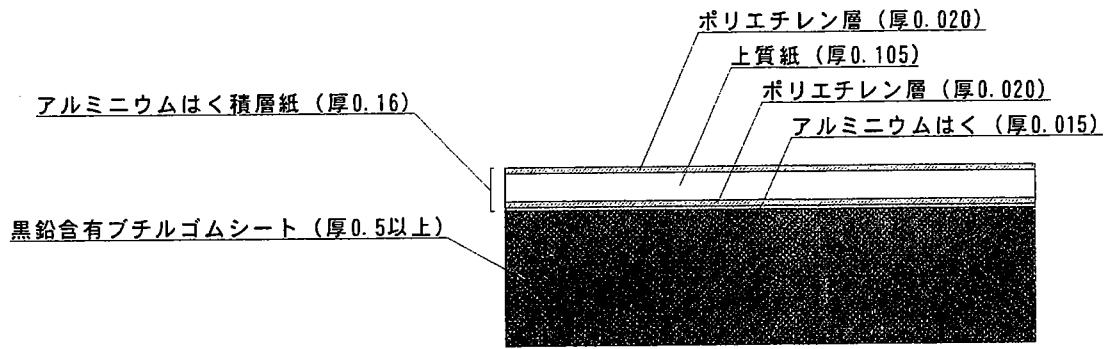
・断面図



注) 寸法および構成は3のとおり

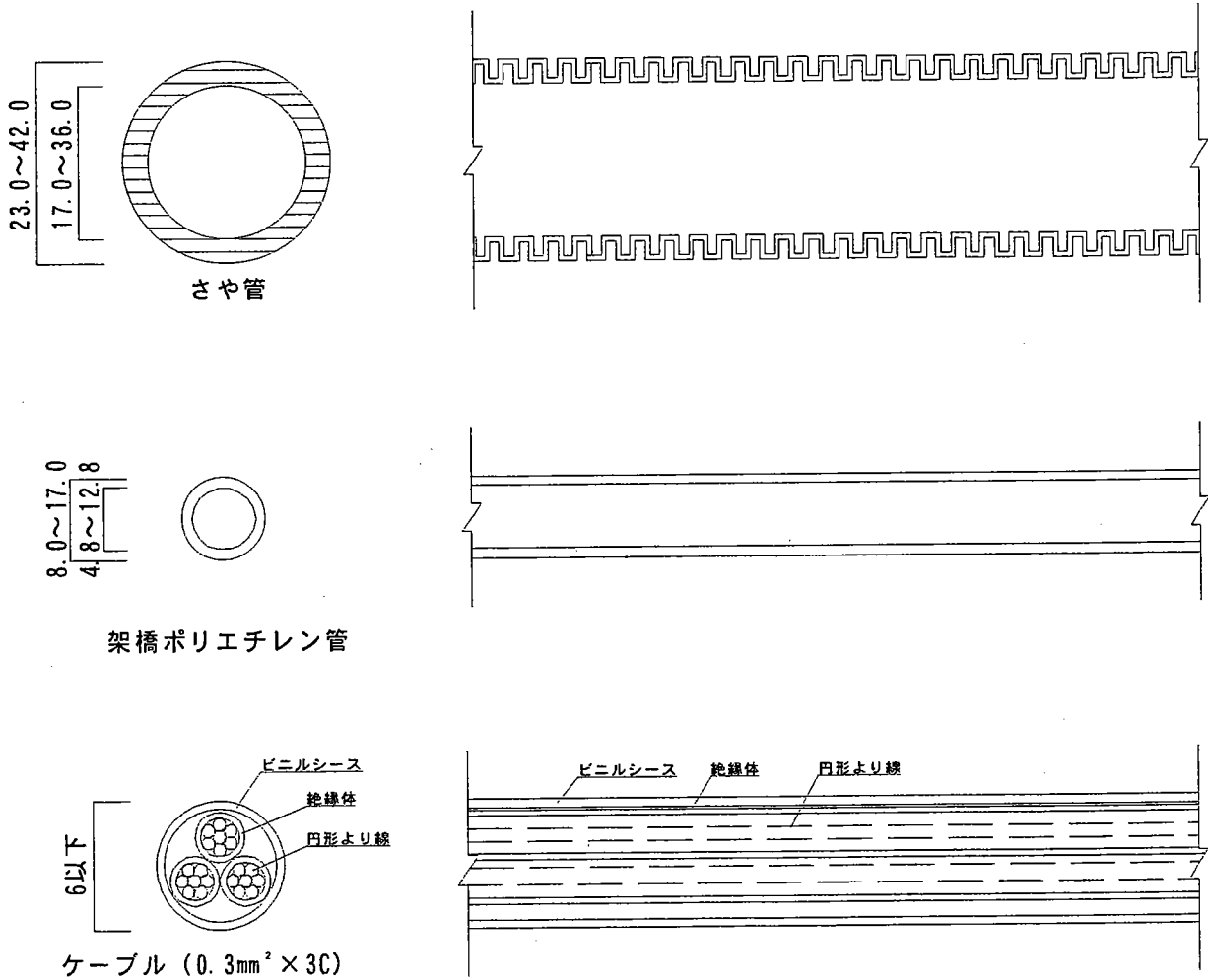
(寸法単位：mm)

熱膨張性シート図

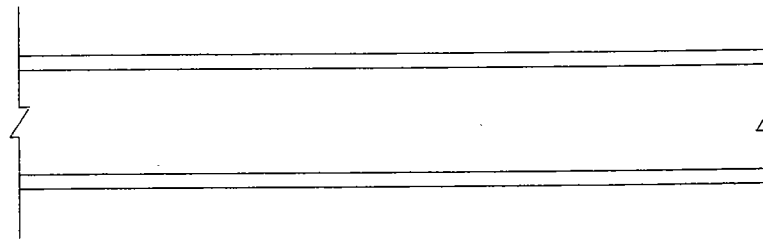
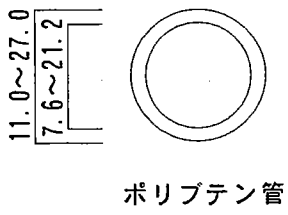
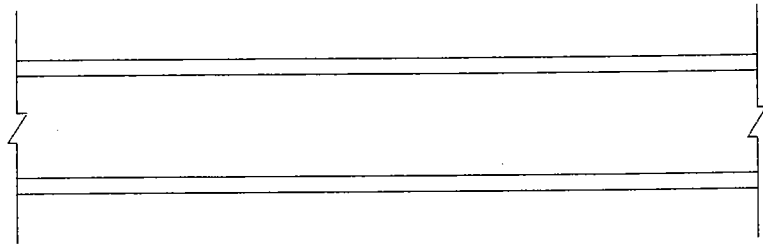
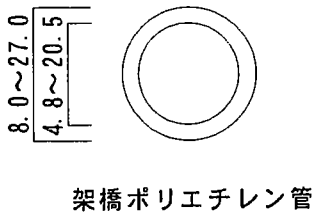
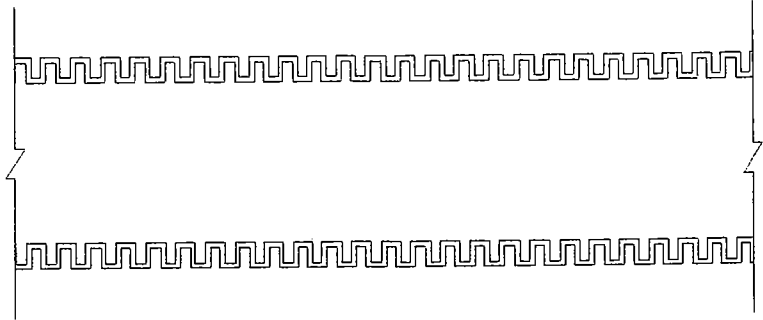
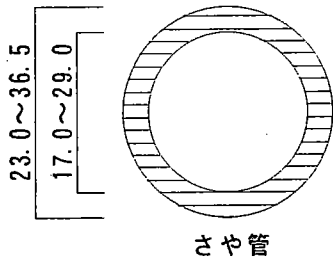


管 断面図

A. さや管付 (ケーブルあり) の場合

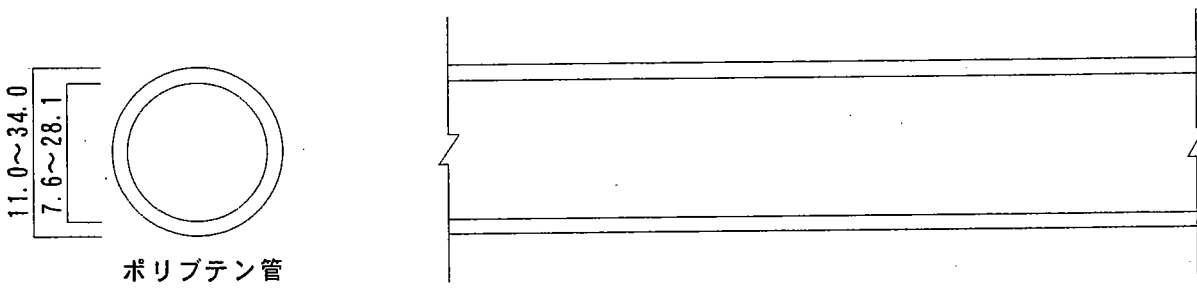
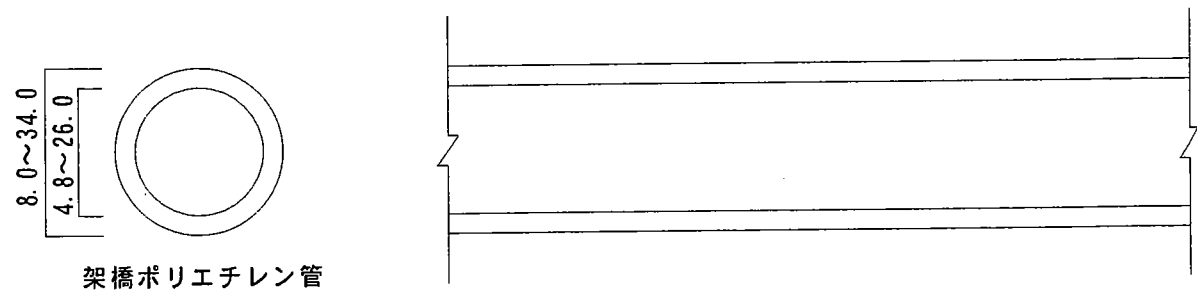
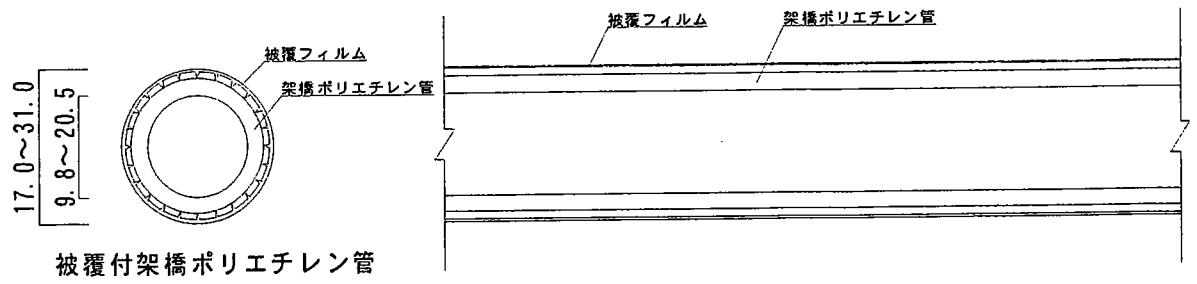


B. さや管付（ケーブルなし）の場合



注) 寸法は3のとおり

C. さや管付以外の場合



注) 寸法は3のとおり

5. 施工方法等

〈施工手順〉

A. さや管付（ケーブルあり）の場合

(1) 事前準備

(1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する（開口径φ80mm以下）。

(2) 区画貫通処置

(2)-1 配管前の場合

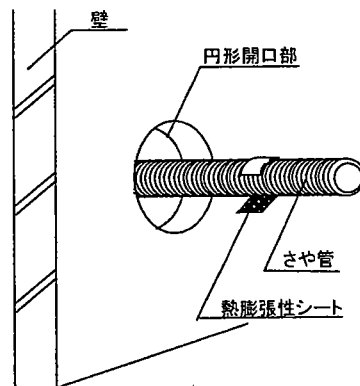
① 熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

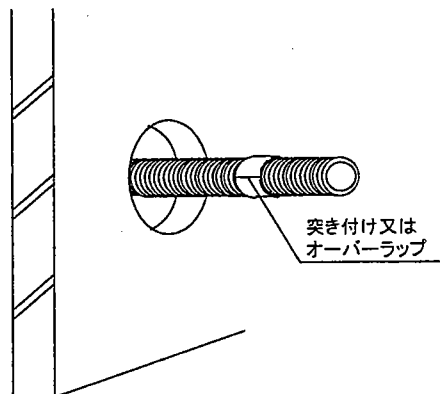
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度（壁面より10mm以下）の位置となるようにする。

② 熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

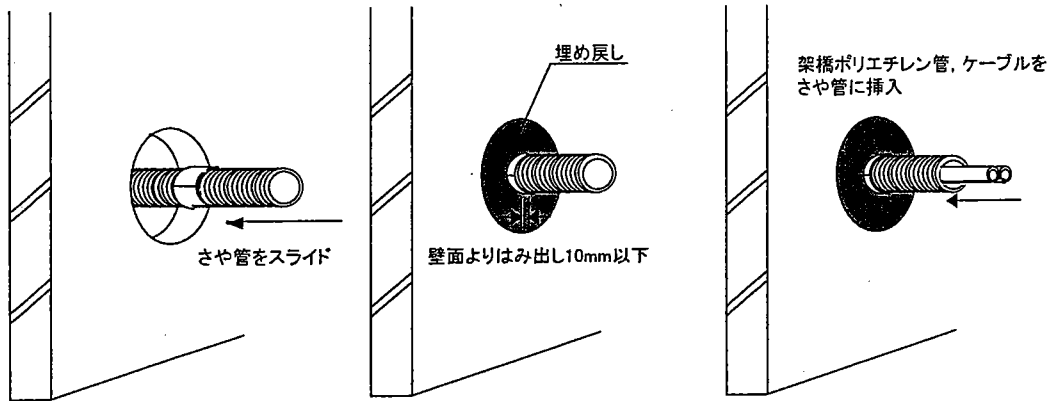


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



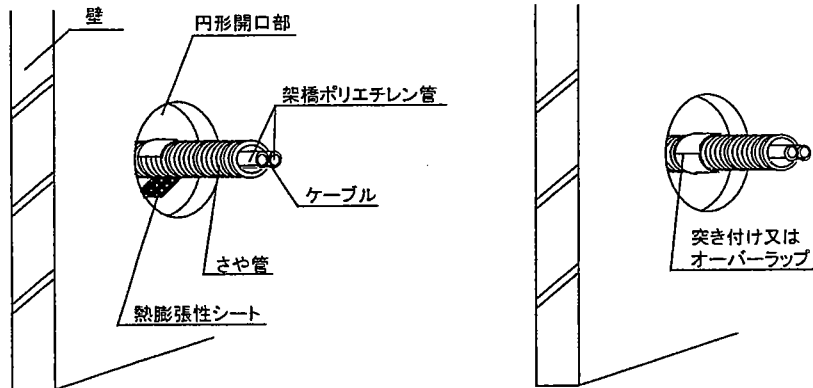
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

壁面より10mmの位置に墨出しをする。

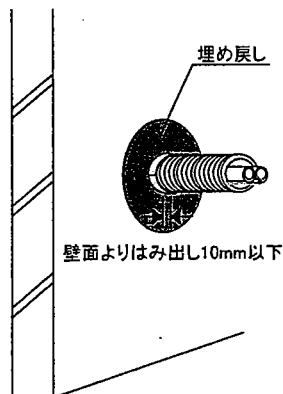
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



③開口部の埋め戻し

開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



B. さや管付（ケーブルなし）の場合

(1) 事前準備

(1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する（開口径φ80mm以下）。

(2) 区画貫通処置

(2)-1 配管前の場合

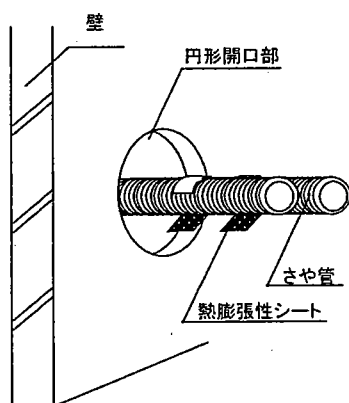
①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

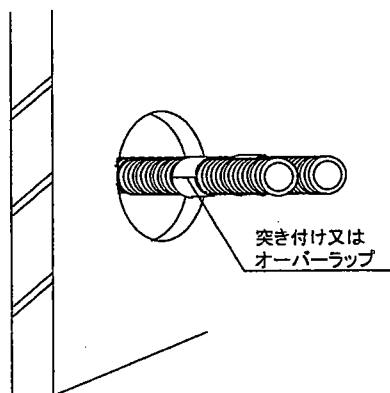
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度（壁面より10mm以下）の位置となるようにする。

②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

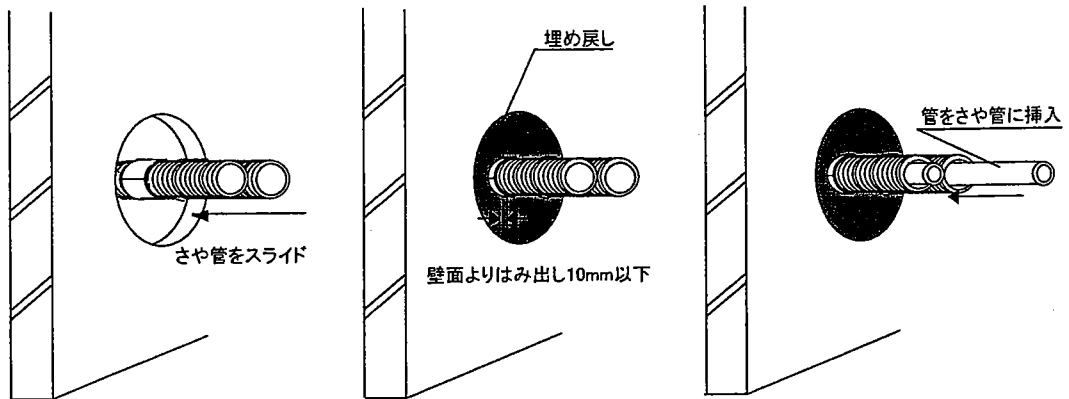


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



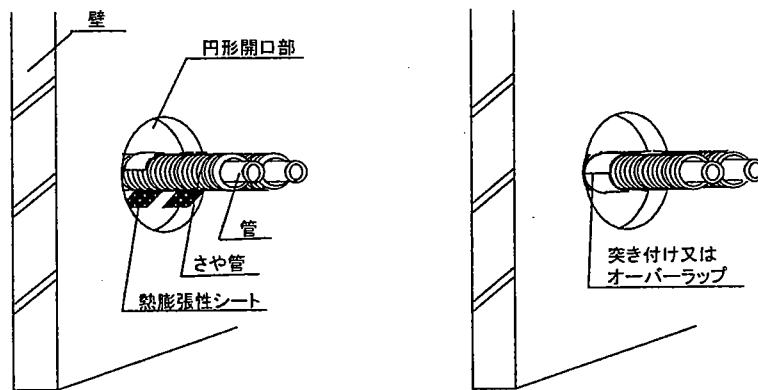
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

壁面より10mmの位置に墨出しをする。

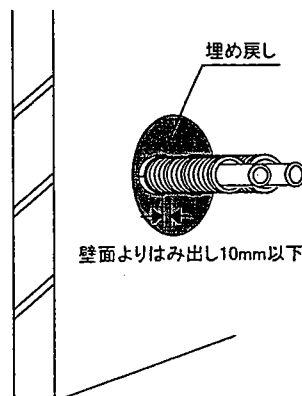
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



③開口部の埋め戻し

開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



C. さや管付以外の場合

(1) 事前準備

(1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する(開口径φ80mm以下)。

(2) 区画貫通処置

(2)-1 配管前の場合

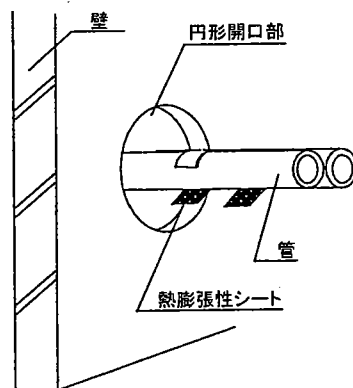
①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

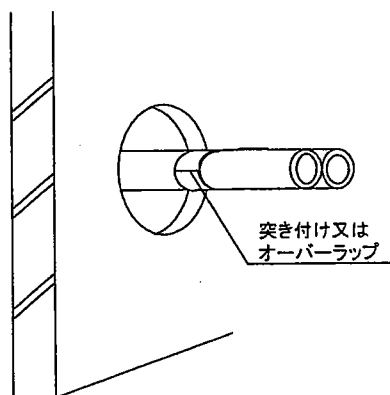
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度(壁面より10mm以下)の位置となるようにする。

②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

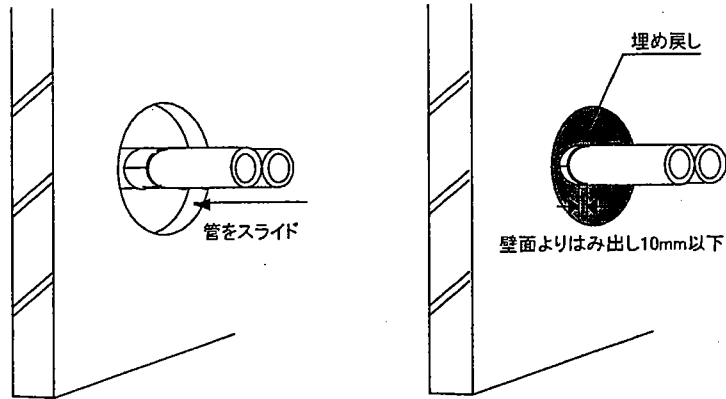


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)。



③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



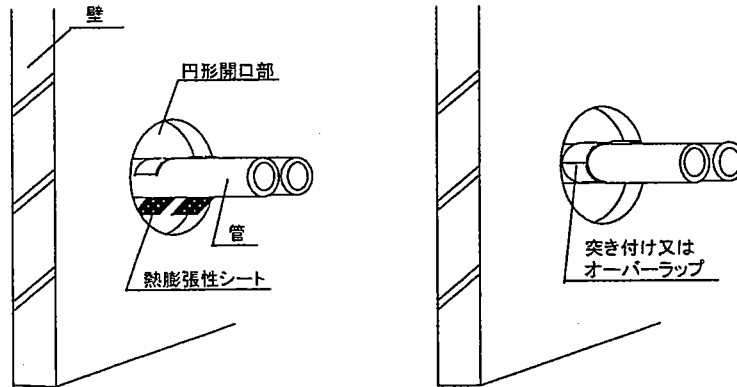
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

壁面より10mmの位置に墨出しをする。

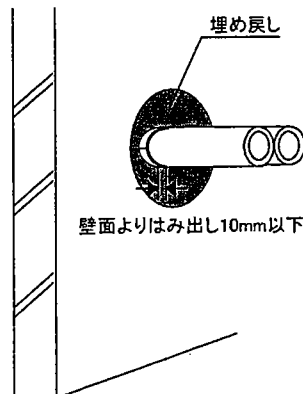
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



③開口部の埋め戻し

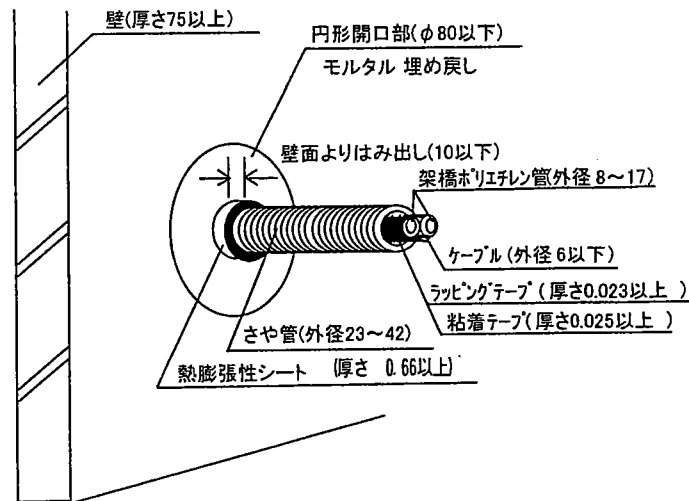
開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



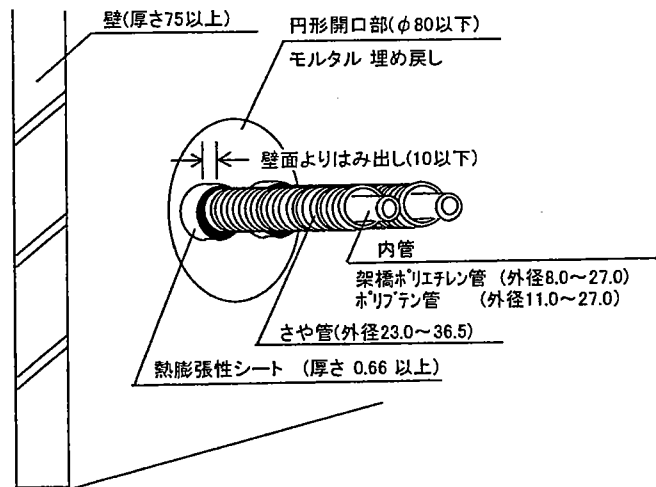
<施工図>

(寸法単位：mm)

・ A. さや管付 (ケーブルあり) の場合



・ B. さや管付 (ケーブルなし) の場合



・ C. さや管付以外の場合

